

西部電機株式会社

(東証スタンダード・福証 証券コード6144)

自然随順の思想で地球に新たな軌跡を描く



2024年3月期第2四半期

決算説明会

会社概要

(2023年9月30日現在)

商 号	西部電機株式会社 Seibu Electric & Machinery Co.,Ltd.
証券コード	6 1 4 4
上 場	東証 スタンダード市場 (2006年 東証2部上場) 福証 (1986年 上場)
本 社	福岡県古賀市駅東3-3-1
創 業	1927年 1 月
資 本 金	26億58百万円
発行済株数	15,160千株
時 価 総 額	209億 20百万円 (2023年11月30日現在)
売 上 高	284億78百万円 (2023年 3 月期 : 連結)
従 業 員	624名 (連結) 570名 (単体)
グループ会社	西電興産株式会社、株式会社西部ハイテック、 西部ペイント株式会社
HPアドレス	https://www.seibudenki.co.jp

目次

1. 2023年度 上期 連結業績

- ・事業セグメント別 売上高構成比
- ・2023年度 経営環境
- ・2023年度 上期 連結業績
- ・事業セグメント別 受注高推移
- ・事業セグメント別 売上高推移
- ・営業・経常・親会社株主に帰属する
四半期純利益推移
- ・営業利益増減要因分析
- ・2023年度 上期 連結貸借対照表

2. 2023年度 通期 連結業績見通し

- ・2023年度 経営方針
- ・2023年度 通期業績見通し
- ・事業セグメント別 売上高予想
- ・設備投資、研究開発費、減価償却費
- ・新精密工場兼事務所棟建設について
- ・事業セグメント別概況・基本方針・
通期見通し

3. 株主還元方針

- ・株主還元（配当方針・配当金推移）

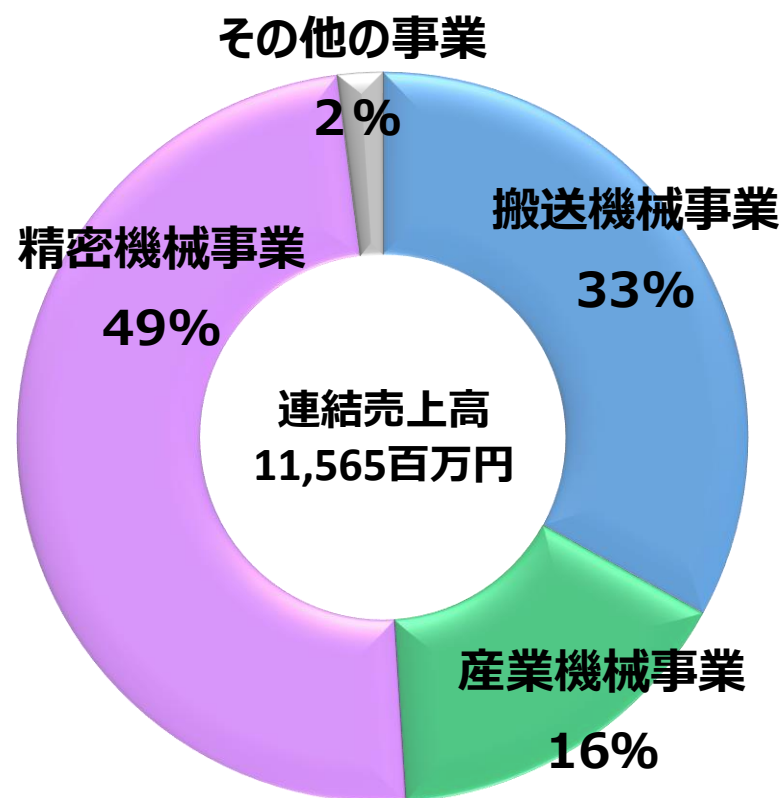
4. 中期経営計画の進捗状況

- ・「チャレンジ280」中期経営計画 売上高推移

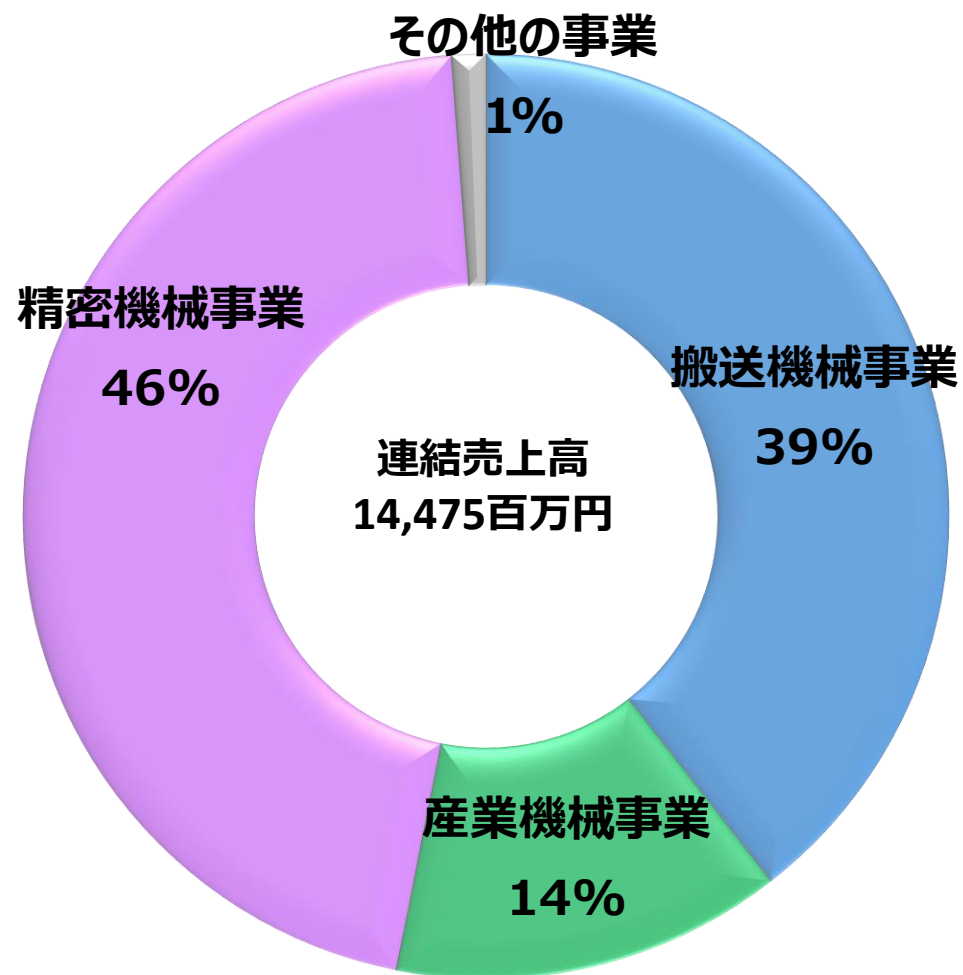
- 1. 2023年度 上期 連結業績**
2. 2023年度 通期 連結業績見通し
3. 株主還元方針
4. 中期経営計画の進捗状況

事業セグメント別 売上高構成比

2022年度 上期



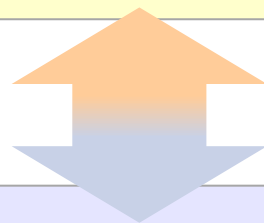
2023年度 上期



2023年度の経営環境

プラス要因

- コロナ禍からの社会経済活動の正常化
- 半導体をはじめとした電子部品供給不足による生産への影響については、一部緩和が進む



マイナス要因

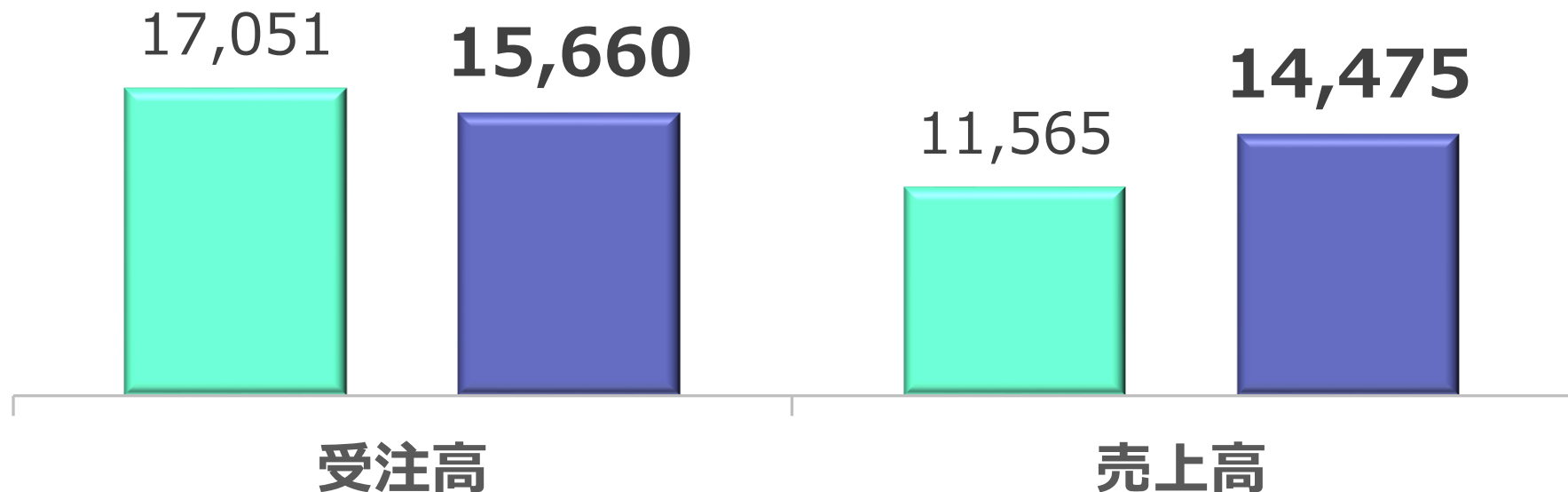
- 製造業においても、原材料及び資源価格の高騰は依然として続く
- 世界的な金融引締めや中国経済の減速による世界的な景気後退の懸念

2023年度 上期 連結業績

■ 2022年度上期

(単位：百万円)

■ 2023年度上期



	上期実績	増減額	前年同期比
受 注 高	15,660	△ 1,390	△ 8.2%
売 上 高	14,475	+ 2,909	+ 25.2%

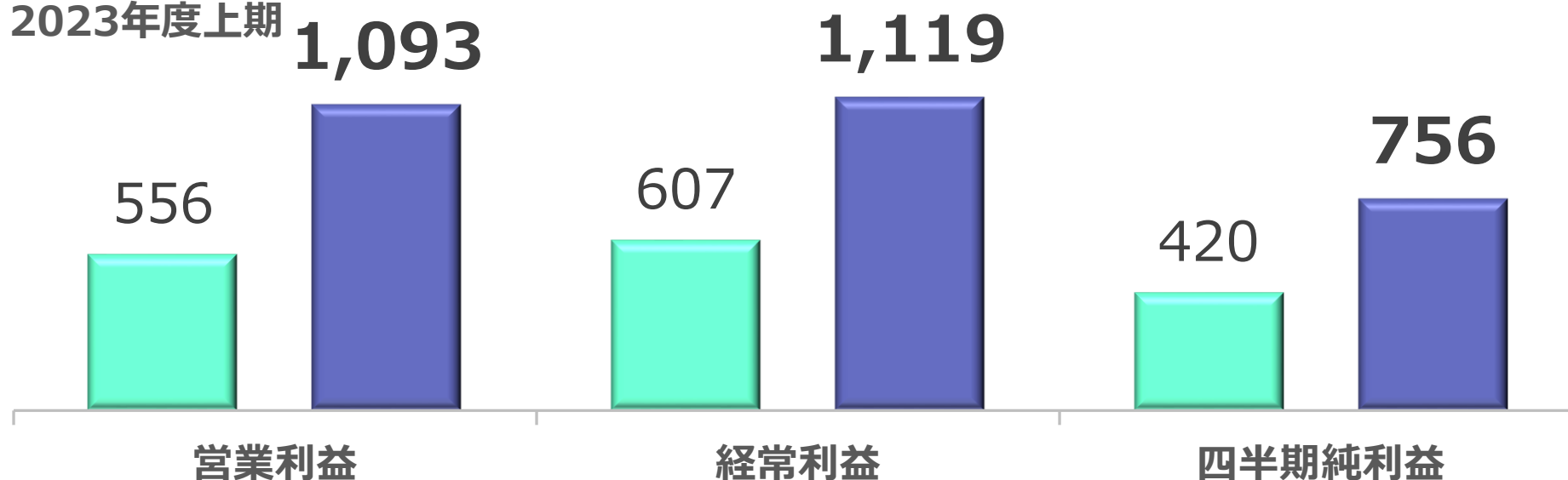
- ▶ 受注高は、搬送機械事業が増加したものの、主に精密機械事業が減少
- ▶ 売上高は、すべてのセグメントにおいて前年同期比増

2023年度 上期 連結業績

■ 2022年度上期

(単位：百万円)

■ 2023年度上期



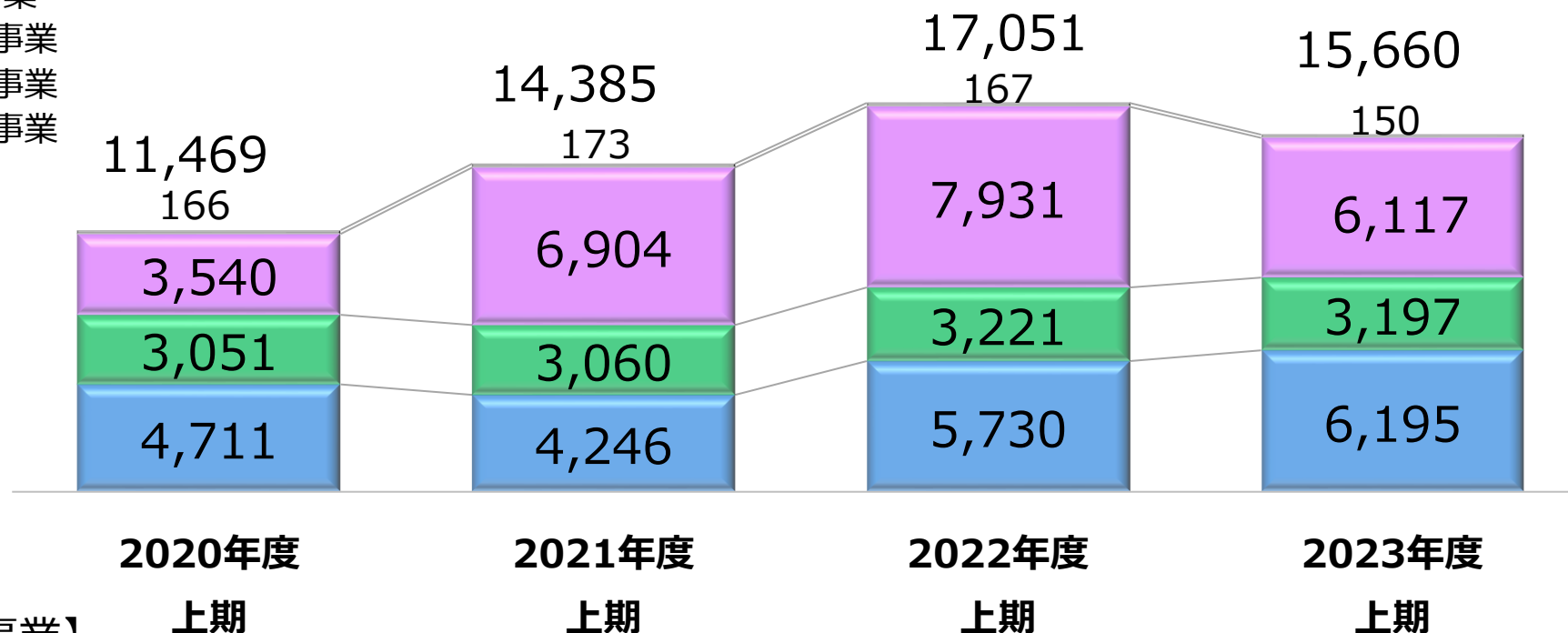
	上期実績	増減額	前年同期比
営業利益	1,093	+ 537	+ 96.7%
経常利益	1,119	+ 511	+ 84.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	756	+ 336	+ 80.0%

▶ 売上高の増加に加え、搬送機械事業において採算性の良い売上物件があったことやコストダウンと経費削減に注力した結果、売上原価率の改善が進み、各利益とも大幅増

事業セグメント別 受注高推移

(単位：百万円)

- その他の事業
- 精密機械事業
- 産業機械事業
- 搬送機械事業



【搬送機械事業】

- ▶ 自動化や省人化の高まりを背景に流通業界や電機機器業界向けの物件の成約などがあり、前年同期比8.1%増

【産業機械事業】

- ▶ 民間需要の掘り起こしやゲート分野を中心とした既存事業におけるシェアアップ、サービス・メンテナンスに注力したが、前年同期比0.7%減

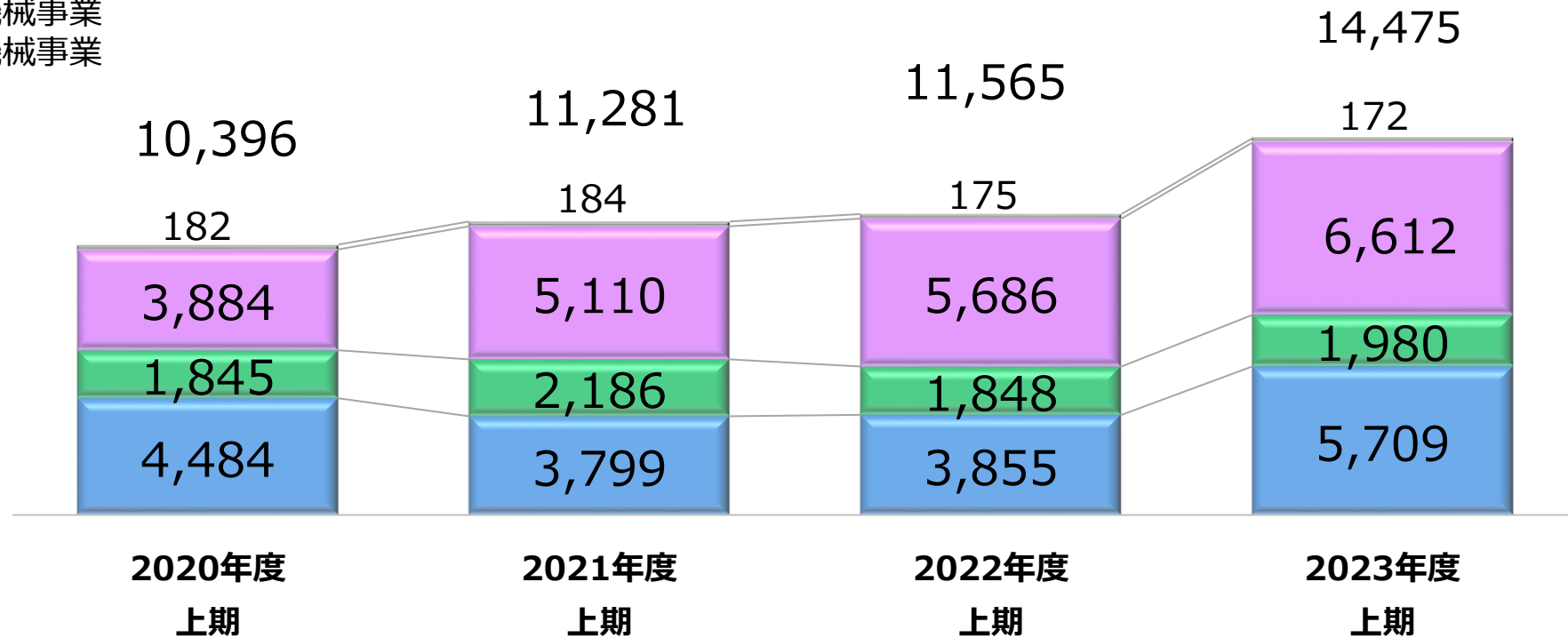
【精密機械事業】

- ▶ 半導体関連市場やEV関連の需要はあるものの中国の景気減速の影響を受け、前年同期比22.9%減

事業セグメント別 売上高推移

(単位：百万円)

- その他事業
- 精密機械事業
- 産業機械事業
- 搬送機械事業



【搬送機械事業】

- ▶ 電池業界や電機機器業界向けの物件などがあり、前年同期比48.1%増

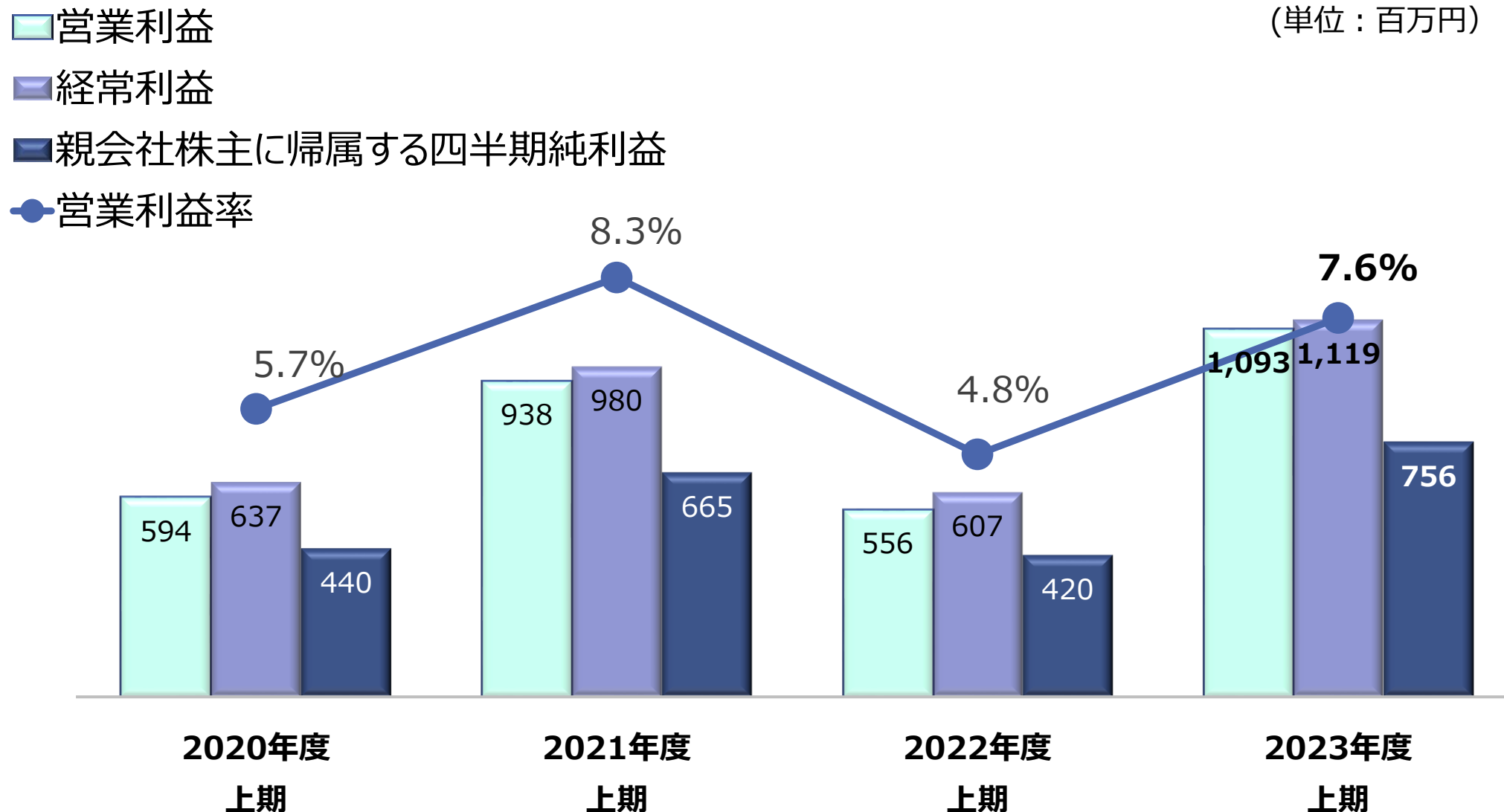
【産業機械事業】

- ▶ ゲート駆動装置やサービス・メンテナンスが増加し、前年同期比7.2%増

【精密機械事業】

- ▶ 製品の生産・出荷が順調に推移し、前年同期比16.3%増

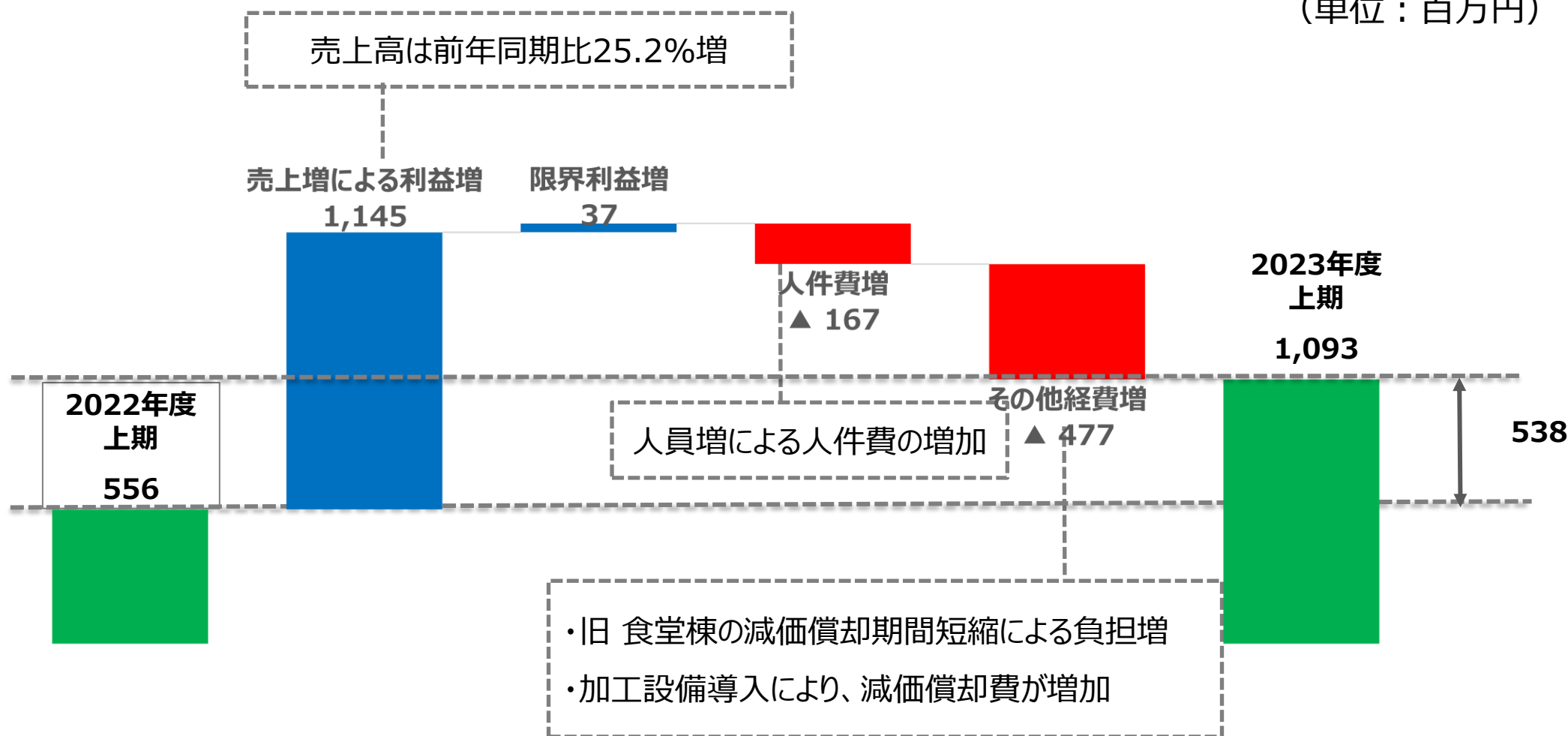
営業・経常・親会社株主に帰属する四半期純利益推移



- ▶ 売上高の増加に加えコストダウンと経費節減に当社グループ一丸となって注力した結果、各段階利益において前年同期比増

営業利益増減要因分析 2022年度上期実績 → 2023年度上期実績

(単位：百万円)



- ・採算性の良い売上物件があったことや、コストダウン、改善活動等に注力した結果、増収・増益
- ・今後の受注拡大を見込み、新工場の建設や加工設備の導入に投資

2023年度 上期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2023年 3月末	2023年 9月末	増減	主な増減要因
流動資産	25,070	26,536	1,466	現金及び預金の増加
固定資産	20,045	20,664	619	建物の増加
資産合計	45,116	47,201	2,085	
流動負債	12,667	14,258	1,591	仕入債務の増加
固定負債	4,037	4,066	29	
負債合計	16,704	18,325	1,621	
純資産合計	28,441	28,876	435	
負債及び純資産合計	45,116	47,201	2,085	
(自己資本比率)	63.0	61.2	△1.8pt	

1. 2023年度 上期 連結業績
- 2. 2023年度 通期 連結業績見通し**
3. 株主還元方針
4. 中期経営計画の進捗状況

2023年度 経営方針

2021年度から2023年度までの中期経営計画
『チャレンジ280』の最終年度

2023年度 経営スローガン

新たな変革にスピードを意識し
果敢に挑戦して行こう

重点施策

受注の確保

コストの削減

品質の向上

2023年度 通期 業績見通し

(単位：百万円)

	2022年度 実績	2023年度 見通し			
		上期実績	通期	前期比	
				増減額	増減率 (%)
受注高	32,884	15,660	34,050	1,166	3.5
受注残高	16,247	17,433	18,300	2,053	12.6
売上高	28,478	14,475	32,000	3,522	12.4
売上総利益	7,777	3,837	8,540	763	9.8
営業利益	2,411	1,093	2,840	429	17.8
営業利益率 (%)	8.5%	7.6%	8.9%	+0.4pt	—
経常利益	2,530	1,119	2,900	370	14.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,806	756	1,900	94	5.2
1株当たり純利益 (円)	119.65	50.13	125.86	6.21	—

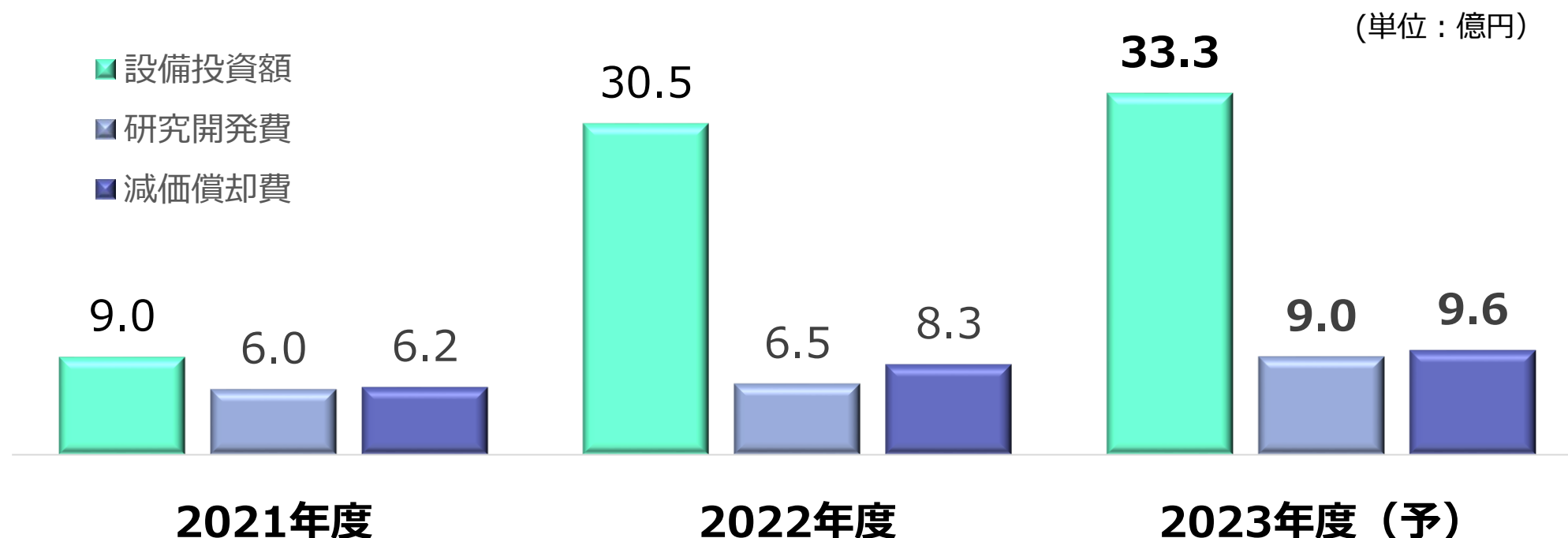
- ▶ 受注高は、国土強靱化計画に対応した産業機械、海外向けを中心とした精密機械、今後さらに成長が期待される搬送機械の自動化需要を取り込む
- ▶ 売上高は、過去最高額の320億円を目指す

事業セグメント別 売上高予想

(単位：百万円)

	2022年度 実績	2023年度予想			
		上期実績	通期	前期比	
				増減額	増減率 (%)
搬送機械事業	9,351	5,709	11,800	2,449	26.2
産業機械事業	6,044	1,980	6,550	506	8.4
精密機械事業	12,472	6,612	13,150	678	5.4
その他事業	609	172	500	△ 109	△ 17.9
合 計	28,478	14,475	32,000	3,522	12.4

設備投資・研究開発費・減価償却費



【設備投資額】

- ▶ 新工場の建設や、積極的な生産設備の老朽化更新と増設を計画

【研究開発費】

- ▶ 市場や顧客にターゲットを絞った研究開発
- ▶ 中長期を見据えた開発計画の推進

【減価償却費】

- ▶ 積極的な設備投資に伴い増加の見込み

新精密工場兼事務所棟建設について

■ 新精密工場兼事務所棟建設の目的

電子部品及び電気自動車関連の生産急増および半導体市場の急激な成長を背景に、当社製品に対する需要も高い水準で推移し続けている。

現状の対応能力以上の受注が続いているため、高まる製品需要に対して今後もの確に対応していくため、新工場の建設によって生産能力を現状比で1.5倍に高め、事業の競争力強化を図る。

■ 新精密工場兼事務所棟の概要

- (1) 名 称 : 新精密工場兼事務所棟
- (2) 所 在 地 : 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
(本社工場敷地内)
- (3) 構 造 : 鉄骨造 (準耐火構造)
- (4) 規 模 : 地上3階
延床面積 11,785.00m² (3,564坪)
建築面積 6,170.00m² (1,866坪)
- (5) 竣 工 : 2024年9月 (予定)
- (6) 投資金額 : 約50億円



新精密工場兼事務所棟 外観イメージ

搬送機械事業の概況

▣主要商品

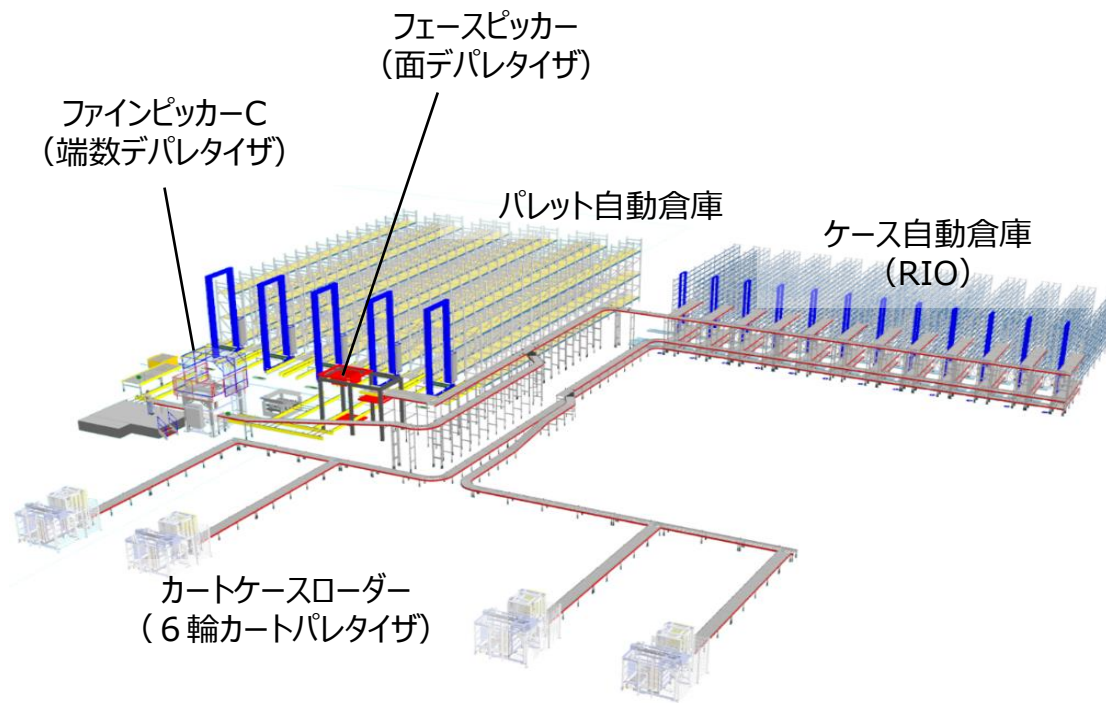
立体自動倉庫
F Aシステム
ケース自動ピッキングシステム
搬送・ハンドリングシステム
ロボティクスマテハン

▣事業の特徴

自社開発・販売
オンリーワン商品
24時間対応サービス体制
優れたソフト開発力

▣シェア（推定値）

立体自動倉庫市場 20%
自動ピッキングシステム
（高速分野） 10%
無人加工システム市場 40%



コンビニエンス向け
飲料自動ピッキングシステム

▣ 主な納入先業界

食 品

運輸・倉庫・卸

医薬・化学

機 械

電機機器

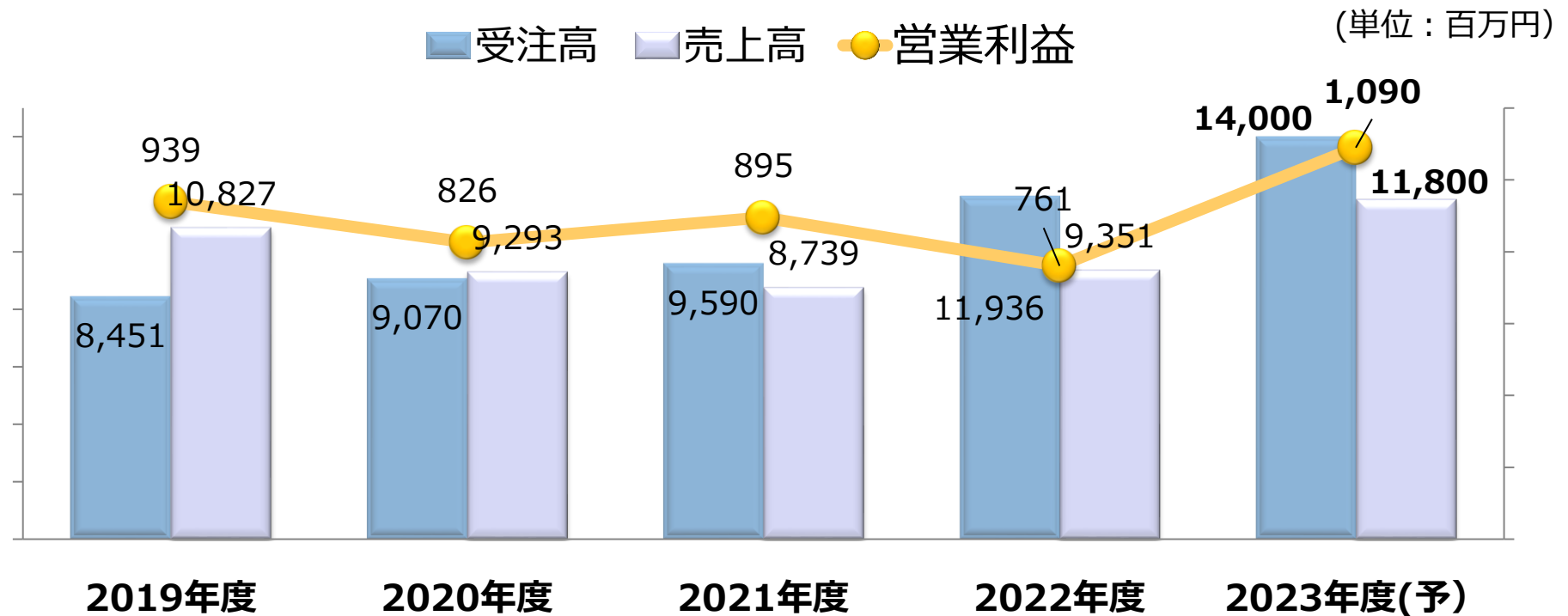
その他

1. 従来型自動倉庫の
採算性向上と
新市場開拓

2. ロボティクス・マテハンの
開発並びに拡販

3. 提案型サービス
による拡販と
コールセンター
の充実

搬送機械事業 通期見通し



□ 重点施策

- ▶ 顧客の課題解決型『トータルソリューションシステム』の提案、開発、製造・販売
- ▶ 『ロボティクス・マテハン』の開発、製造・販売
- ▶ 2024年問題への対応・機器の開発
- ▶ 流通、電池、運輸・倉庫、機械の各業界を重点に拡販
- ▶ (株)豊田自動織機殿との機種統合による標準自動倉庫のOEM供給
- ▶ 国内外（中国）向けサービスメンテ拠点の強化



ロボティクス・マテハン
(トランシップ・カートローダー)

産業機械事業の概況

▣主要商品

バルブアクチュエータ
ゲート駆動装置
バルブ・ゲート制御システム

▣事業の特徴

高い市場占有率
納入実績70万台
サービス・メンテナンス網の充実
(全国をカバー)

▣シェア（推定値）

上下水道	70%
電力・鉄鋼	20%
河川・ダム	40%



ゲート駆動装置
(大型チェーン式)



(バルブアクチュエータ)
Semflex®シリーズ

▣ 主な納入先業界

官庁関係（厚生労働省・国土交通省・
防衛省・各地方自治体 他）

バルブ・ゲートメーカー 各社

電機・重工・造船 各社

その他

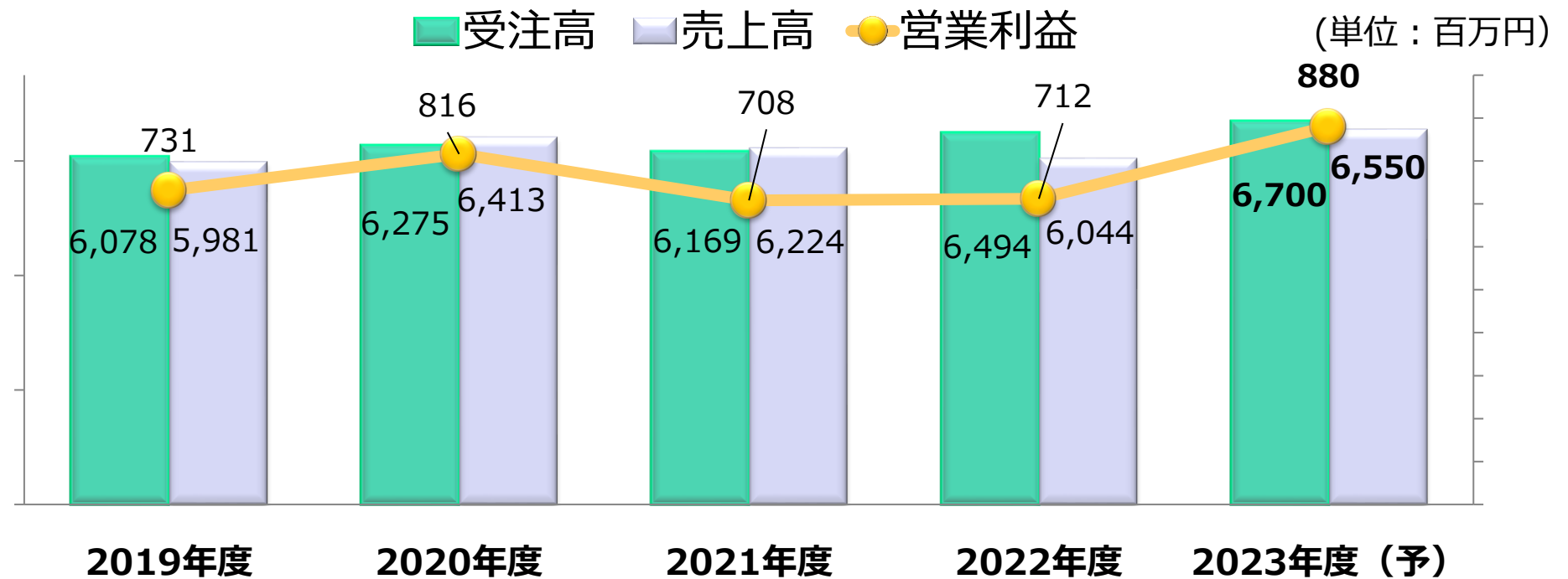
産業機械事業 2023年度の基本方針

1. メンテプランの提案
強化によりM E 事業
の受注拡大

3. 海外生産工場立ち上げ
と共に海外市場に適合
した製品を開発し
市場展開・拡販

2. 災害対策商品を
民需・ゲート市場へ
展開

産業機械事業 通期見通し



重点施策

- ▶ ガス・化学・半導体分野などに自然災害による停電対策用としてバッテリーを搭載した商品を武器に受注拡大
- ▶ 防衛省艦船は、商品開発を継続し受注獲得
- ▶ 農林系をターゲットに水害対策として手動ゲート開閉機の電動化提案により受注拡大
- ▶ スtockビジネス掘り起こしによるメンテナンス事業の受注拡大
- ▶ タイ市場の拡張、現地生産の充実と整備



Semflex-VMM-Z

精密機械事業の概況

▣主要商品

【放電加工機】

超精密・高精密ワイヤ放電加工機
超精密ワイヤ放電加工機（油仕様）

【工作機械】

高精密小形N C旋盤
自由形状内面研削盤

▣事業の特徴

【放電加工機】

業界No. 1 評価のワイヤ自動供給装置
金型業界No. 1 のピッチ精度・
加工安定性

【工作機械】

抜群の寸法安定性
金型等への市場拡大

▣シェア（推定値）

【放電加工機】

35%（国内生産分）

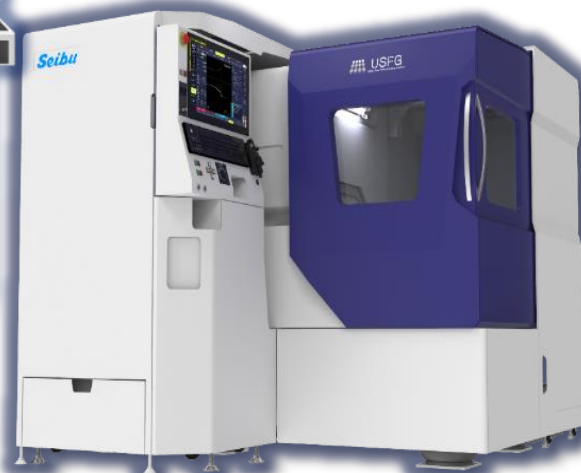
【工作機械】

高精度対象商品



（放電加工機）
MM50UP

（工作機械）
USFG



▣ 主な納入先業界

精密金型 他

自動車・航空機

電子・電機

光 学

その他

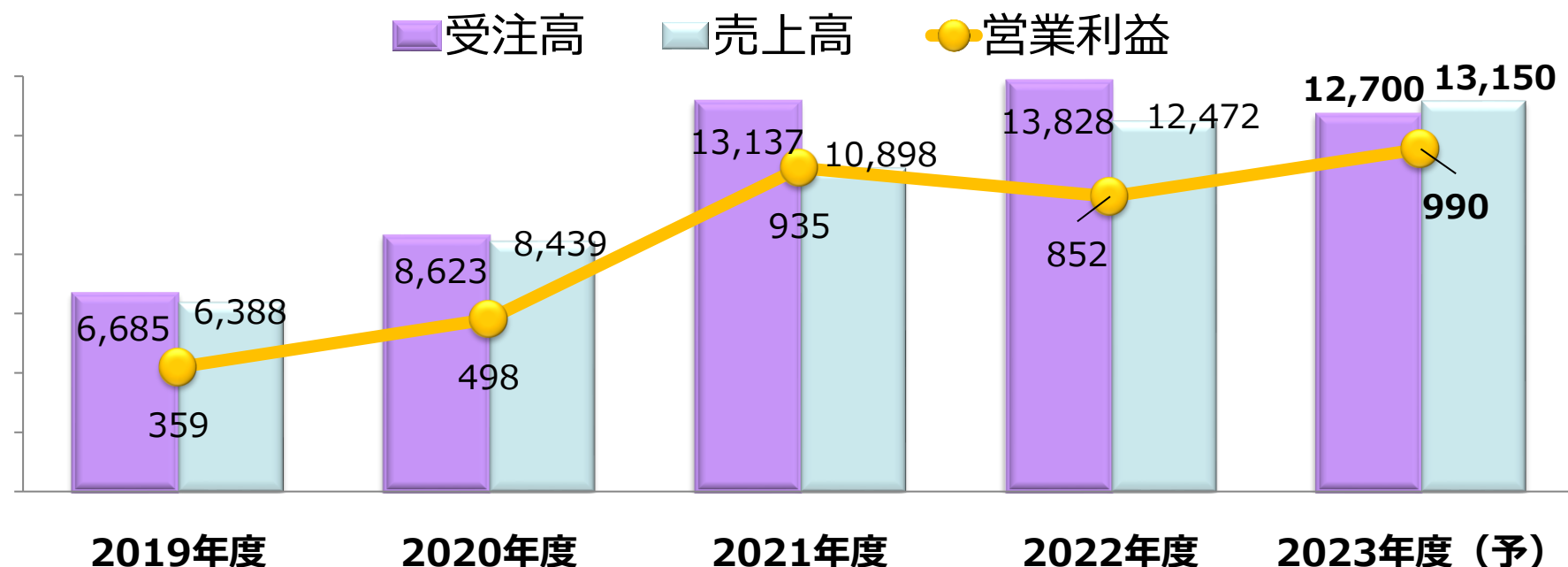
1. 地域別の販売戦略を展開し
中国一極からの
脱却を目指す

3. 保守、技術
サポートを充実させ
販売店との強化を図り
当社のブランド力と
知名度をアップ

2. ターゲット分野
(半導体・EV・医療・
鍛造金型)に
向けた新製品開発、
新システム開発の
スピードアップ

精密機械事業部 通期見通し

(単位：百万円)



□ 重点施策

【放電加工機】

- ▶ 付加価値を追加した新機種『M-HP・MM-UP』の拡販
- ▶ 大型高精密加工機『SuperMM80B』の拡販
- ▶ 高精密・超精密をアピールし、更なる海外市場獲得

【工作機械】

- ▶ 金型業界へ高精度複合研削盤として、S F Gシリーズを国内外に拡販
- ▶ レンズ業界へ高精度部品の加工機として拡販

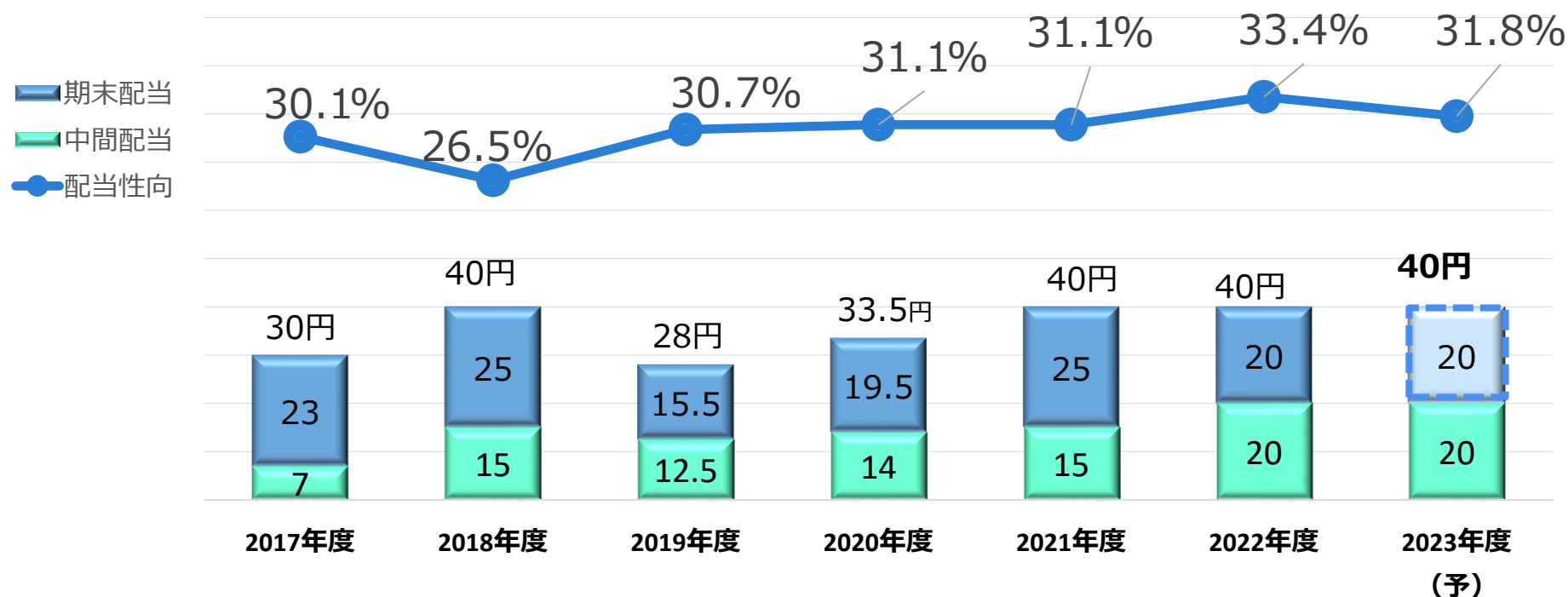
1. 2023年度 上期 連結業績
2. 2023年度 通期 連結業績見通し
- 3. 株主還元方針**
4. 中期経営計画の進捗状況

株主還元（配当方針・配当金推移）

■ 配当方針

株主還元につきましては、経営の重要課題の1つとして認識しております。
配当政策については、安定的配当を基本としつつ、業績の向上によって
1株当たりの利益水準を高めるとともに、中長期計画、財務状況、収益性
を考慮しながら、これに対応した配当を決定すべきと考えております。

■ 配当金推移



2023年度の配当予想は、前年度と同額の年間40円/株を予定

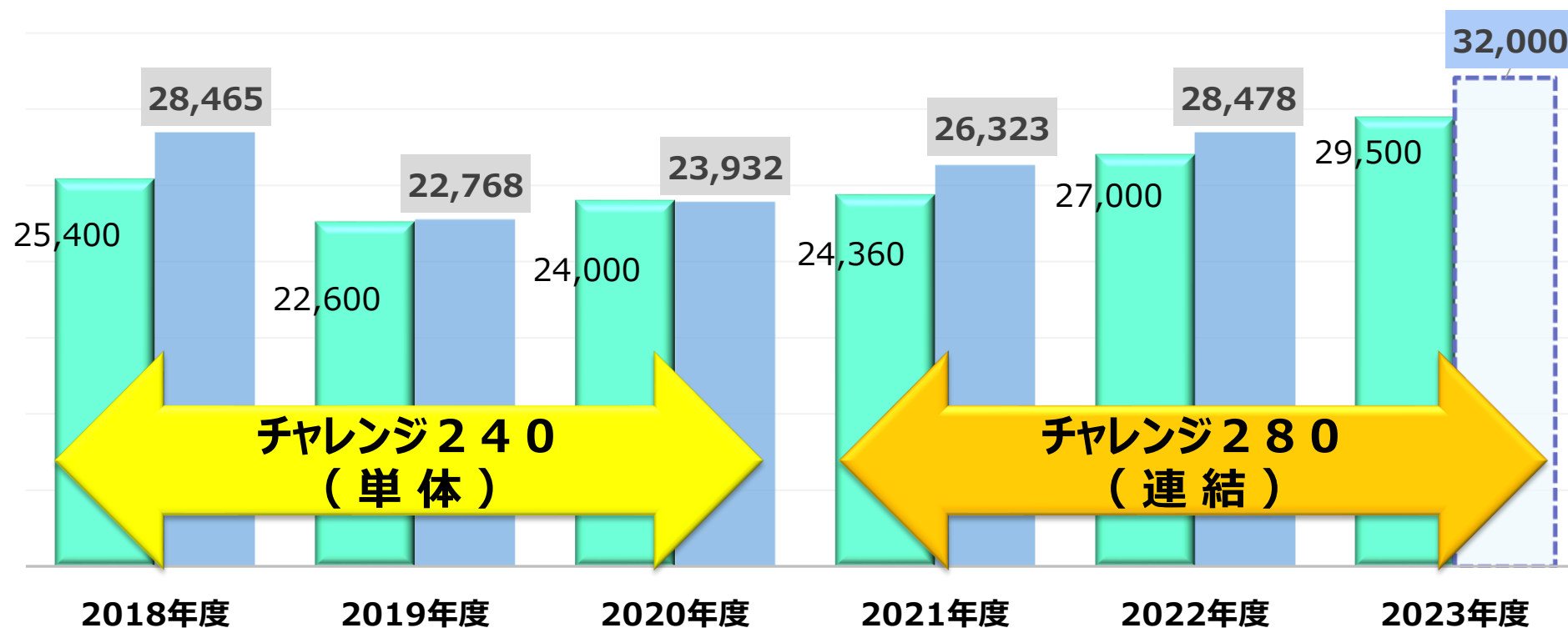
1. 2023年度 上期 連結業績
2. 2023年度 通期 連結業績見通し
3. 株主還元方針
- 4. 中期経営計画の進捗状況**

「チャレンジ280」中期経営計画 売上高推移

2018年度～2023年度見通し

■ 計画
■ 実績

(単位：百万円)



- ▶ 中期経営計画『チャレンジ280』は初年度、2年目ともに計画を上回り、最終年度も計画を上回る予想としております。
- ▶ 『チャレンジ280』最終年度では、売上高295億円の目標に対し、320億円を計画しており、次期中期経営計画に向けて確固たる基盤を構築して参ります。

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスク及び不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値と異なる結果となる場合があります。



東証スタンダード・福証（証券コード：6 1 4 4）

＜お問い合わせ先＞ 経営企画室

TEL：092-941-1500

FAX：092-941-1511

URL：<https://www.seibudenki.co.jp>